

幼児たちの1日の活動実態と課題について

The Actual Conditions and Needs of Daily Activities for the Infants

藤野 良孝*¹ 梶山 俊仁*¹ 寺田 泰人*²

Yoshitaka FUJINO, Toshihito KAJIYAMA, Yasuto TERADA

要 旨

筆者らは、幼児がスムーズに1日の活動を図ることを目的としたアニメーションの教材開発を検討している。手始めに、コンテンツの選定として子どもの朝・昼・夜における活動内容がどのような順番で行われているのか、そこにはどのような課題があるのかを子育て中の保護者63名にアンケート調査を実施した。本稿は、アンケート調査で得られた朝・昼・夜ごとの活動の順位付け及び親が子どもにスムーズに行って欲しい活動内容の結果を報告する。

1. はじめに

近年、共働き夫婦の増加やスマートフォンの普及、SNSの活用により、子育ての形や生活リズム、日々の活動（運動）に変化が生じている。例えば、仕事の残業によって父母の帰宅が遅くなると子どもの全活動が遅れ就寝時刻が遅くなり、翌朝の子どもの体調面・活動面に悪影響を与えることが懸念される。ベネッセ教育総合研究所（2008）では、「子どもたちの遅寝・短時間睡眠が進んでいるのは、親世代の夜型の生活に子どもが巻き込まれていることが原因」と報告している。

共通的な子育ての悩みとして、橋本（2009）は「多くの母親が子育てのために頑張っているが、可愛い子どもにも「イライラする、八つ当たりしたくなる、子どものために我慢ばかりしている」という母親の気持ちを報告している。さらに、中川・宮本（2020）では「幼児の子をもつ母親の認知的要因と不適切な対処行動との間にイライラ感が介在しており、被害的認知及び完璧主義な認知的特性によってイライラ感が高まると、不適切な対処行動につながりやすい」ことを示唆している。

昨今問題視されている社会人の運動不足において、山西（2016）は、「運動を行っている母親に比べて運動を「行っていない」母親で、自覚した不定愁訴の数が多く、各症状の度合いを強く感じる傾向」と報告している。

先述された複合的な問題は、清水他（2007）からも報告されており「子育て期をより幸福に過ごすことへの困難では複合化したストレスからくる疲れとイライラ（ストレス）、あれもこれとも思う自分の性分、人に任せられない自分がやるという気負いがあった。」と述べている。以上のように、共働きをはじめライフスタイルの変化などが子育てに与える負の影響を鑑みると子どもが円滑に活動し、少しでも母親（父親）の負担を軽減させる方策が求められる。

本研究では、子育て期の親がイライラなどの不定愁訴を軽減させる手段の1つとして、**図1**のようなアニメーションを取り入れた子どもの活動を促す教材を開発したいと考えている。まずは、アニメーションに実装するコンテンツの選定として、子どもの朝・昼・夜の活動実態とその流れを示し、親のイライラのもとになっている活動が何であるのかをアンケート調査から抽出することを目的とする。



図1 アニメーションのイメージ
(挨拶を学ぶ場面)

2. 方法

2.1. 調査協力者 奈良県にあるH幼稚園の保護者 63名であった。

2.2. 調査期間 2019年6月

2.3. 質問紙 問は2つ設けた。1つ目は、朝・昼・夜に「お子様がおこなう活動の順番を教えてください。」と尋ね、**表1**に示した活動内容の中から選択回答してもらった。回答の際、朝は「起床」、昼は「昼食」を起点に内容を記載させ、夜は「就寝」を遡って内容を記載させるようにした(**表2**)。

2つ目は、先に解答してもらった「おこなう順」の中から「特にスムーズにしたいとお考えの番号を選び、その問題点を具体的に書いて下さい。」と尋ねた。両問とも複数回答とした。

2.4. 手続き 実施にあたり幼稚園の園長先生に本アンケートの主旨、倫理的配慮、プライバシーについて説明を行い、保護者を対象としたアンケート調査の了承を得た。

保護者に対して、園長先生からアンケート調査紙を配布してもらい回答を求めた。

3. 結果と考察

3.1. 子どもの1日の活動順番

表3に1日の活動内容別の合計割合を示す。特に割合の高い活動内容は、表内のセルに色をつけた。

表1 子どもの活動内容

(1)窓を開けて換気	(2)ふとんをたたむ・しまう	(3)挨拶をする
(4)トイレ	(5)洗顔	(6)手洗い・うがい
(7)はみがき	(8)食事	(9)食事の手伝い・片づけ
(10)着替え	(11)お弁当づくりの手伝い	(12)持ち物の確認
(13)靴をはく・ぬぐ	(14)一人で遊ぶ	(15)親子でふれあう
(16)お勉強	(17)入浴	(18)整理整頓
(19)部屋の戸締り	(20)買い物	(21)寝かしつけ
(22)掃除の手伝い	(23)洗濯物をほす、とりこむ手伝い	(24)おやつ準備
(25)その他(具体的に:)		

表2 回答方法

おこなう順番	おこなう順番	おこなう順番
起床	昼食	
		就寝

表3 1日の活動内容別の合計割合

活動内容	朝	昼	夜
(1)窓を開けて換気	0.4%	0%	0%
(2)ふとんをたたむ・しまう	0.2%	0%	0%
(3)挨拶をする	11.4%	0.6%	3.9%
(4)トイレ	11.8%	4.8%	8.8%
(5)洗顔	6.9%	0%	0.2%
(6)手洗い・うがい	4.3%	4.8%	2.7%
(7)はみがき	11.0%	3.9%	11.4%
(8)食事	12.5%	4.8%	12.4%
(9)食事の手伝い・片づけ	2.4%	12.2%	5.9%
(10)着替え	12.7%	0.6%	5.5%
(11)お弁当づくりの手伝い	0.2%	0%	0%
(12)持ち物の確認	3.7%	0%	1.0%
(13)靴をはく・ぬぐ	9.6%	4.5%	0.4%
(14)一人で遊ぶ	5.3%	15.8%	9.6%
(15)親子でふれあう	2.7%	14.6%	8.2%
(16)お勉強	3.3%	6.6%	4.7%
(17)入浴	0%	1.8%	11.6%
(18)整理整頓	0.2%	4.5%	3.5%
(19)部屋の戸締り	0%	1.2%	0.4%
(20)買い物	0%	5.1%	0%
(21)寝かしつけ	0%	0.6%	5.9%
(22)掃除の手伝い	0.2%	0.9%	0%
(23)洗濯物をほす、とりこむ手伝い	0%	3.0%	0.4%
(24)おやつ準備	0%	7.8%	0.6%
(25)その他	1.2%	2.1%	2.9%

濃い色ほど、高割合、薄い色ほど低割合を示す。

朝の各活動内容の合計割合は、「(10)着替え[12.7%]」「(8)食事[12.5%]」「(4)トイレ[11.8%]」「(3)挨拶をする[11.4%]」「(7)はみがき[11%]」が比較的高い傾向が示された。

昼の各活動内容の合計割合は、「(14)一人で遊ぶ[15.8%]」「(15)親子でふれあう[14.6%]」「(9)食事の手伝い・片付け[12.2%]」が比較的高い傾向が示された。

夜の各活動内容の合計割合は、「(8)食事[12.4%]」「(17)入浴[11.6%]」「(7)はみがき[11.4%]」が比較的高い傾向が示された。

表4～6に、1日の活動順番(①～⑬)別からみた活動内容の割合と合計回答数を示す。

朝の活動として高割合の内容を順番に挙げると、1番は「(3)挨拶をする(84.1%)」、2番

は「(4)トイレ(50.8%)」、3番は「(8)食事(27%)」、4番は「(8)食事(30.2%)」、5番は「(7)はみがき(22.2%)」、6番は「(10)着替え(22.4%)」、7番は「(10)着替え(19.2%)」、8番～13番迄は「(13)靴をはく(30%～100%)」であった。

特に「挨拶」は84.1%と最高割合であったことから、声を発し1日を元気よく始める意識や「相手に敬意・親愛の意を示す(挨拶の解説:大辞林)」といった意識をもつ家庭が多いことが窺える。最終活動の「持ち物確認」も高割合を占め、子どもが幼稚園で不都合のないように親が入念に持ち物を確認している様子が推察された。

昼の活動の1番は「(9)食事の手伝い・片づけ(42.9%)」、2番は「(14)一人で遊ぶ(44.3%)」、3番は「(15)親子でふれあう(33.3%)」、4番は「(20)買い物と(24)おやつ準備(14.9%)」、5番は「(24)おやつ準備(15.6%)」、6番は「(24)おやつ準備(29.2%)」、7番は「(8)食事(21.1%)」、8番「(9)食事の手伝い・片づけ、(14)一人で遊ぶ、(17)入浴がそれぞれ(17.6%)」、9番は「(14)一人で遊ぶ・(15)親子でふれあう(22.2%)」、10番は「(18)整理整頓(33.3%)」、11番は「(23)洗濯物をほす、とりこむ手伝い(100%)」、12番は「(4)トイレ、(16)お勉強(50%)」が高割合であった。特に「食事の手伝い・片付け」は42.9%と高く、ベネッセ教育情報サイト内(2016)でも次のような利点が紹介されていることからコンテンツの重点項目に挙げたい。

- ・「人の役に立っていると感じられることが自信につながる。」
- ・「決められたお手伝いをこなすことで忍耐力を養える。」
- ・「自分でやれるようになることで自立心が育つ。」

表 4 朝:活動順番ごとの活動内容別の割合と合計回答数

活動内容 \ 活動順番	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
(1)窓を開けて換気	3.2%												
(2)ふとんをたたむ・しまう		1.6%											
(3)挨拶をする	84.1%	3.2%		1.6%		1.7%				9.1%			
(4)トイレ	7.9%	50.8%	12.7%	9.5%	3.2%	3.4%	7.7%		5.0%				
(5)洗顔		6.3%	14.3%	9.5%	9.5%	6.9%	7.7%	4.7%					
(6)手洗い・うがい		4.8%	14.3%	7.9%	3.2%	5.2%							
(7)はみがき		4.8%	9.5%	◎15.9%	22.2%	15.5%	15.4%	7.0%	10.0%	9.1%			
(8)食事	1.6%	12.7%	27.0%	30.2%	17.5%	13.8%							
(9)食事の手伝い・片づけ				3.2%	6.3%	8.6%	1.9%						
(10)着替え		7.9%	15.9%	15.9%	14.3%	22.4%	19.2%	14.0%		18.2%			
(11)お弁当づくりの手伝い										9.1%			
(12)持ち物の確認				1.6%	1.6%	1.7%	7.7%	11.6%	◎15.0%	18.2%	14.3%	33.3%	
(13)靴をはく・ぬぐ					7.9%	3.4%	17.3%	◎37.2%	30.0%	36.4%	57.1%	66.7%	100%
(14)一人で遊ぶ			3.2%	3.2%	◎9.5%	8.6%	9.6%	7.0%	15.0%		14.3%		
(15)親子でふれあう	3.2%	6.3%			1.6%	5.2%	3.8%	2.3%	5.0%				
(16)お勉強				1.6%	◎3.2%	3.4%	7.7%	9.3%	20.0%				
(17)入浴													
(18)整理整頓								2.3%					
(19)部屋の戸締り													
(20)買い物													
(21)寝かしつけ													
(22)掃除の手伝い											14.3%		
(23)洗濯物をほす、とりこむ手伝い													
(24)おやつの準備													
(25)その他		1.6%	3.2%				1.9%	4.7%					
合計回答数	63	63	63	63	63	58	52	43	20	11	7	3	1

表 5 昼:活動順番ごとの活動内容別の割合と合計回答数

活動内容 \ 活動順番	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
(1)窓を開けて換気												
(2)ふとんをたたむ・しまう												
(3)挨拶をする	1.6%	1.6%										
(4)トイレ	4.8%	4.9%	7.4%	6.4%		4.2%				16.7%		50%
(5)洗顔												
(6)手洗い・うがい	6.3%	4.9%	1.9%	4.3%	◎12.5%	4.2%			11.1%			
(7)はみがき	7.9%	6.6%	1.9%	4.3%	3.1%							
(8)食事	7.9%	3.3%	1.9%	2.1%	3.1%	4.2%	21.1%			16.7%		
(9)食事の手伝い・片づけ	42.9%	4.9%	5.6%	2.1%	6.3%	8.3%		◎17.6%				
(10)着替え		1.6%			3.1%							
(11)お弁当づくりの手伝い												
(12)持ち物の確認												
(13)靴をはく・ぬぐ	3.2%		5.6%	10.6%	3.1%	4.2%	5.3%	5.9%	11.1%			
(14)一人で遊ぶ	11.1%	44.3%	7.4%	8.5%	9.4%	4.2%	10.5%	17.6%	◎22.2%			
(15)親子でふれあう	7.9%	19.7%	33.3%	10.6%	12.5%	12.5%			◎22.2%			
(16)お勉強	3.2%	3.3%	13.0%	6.4%	9.4%	4.2%	5.3%	5.9%	11.1%			50%
(17)入浴				2.1%		4.2%	5.3%	17.6%				
(18)整理整頓			5.6%	6.4%	3.1%	8.3%	10.5%	5.9%	11.1%	33.3%		
(19)部屋の戸締り			1.9%	2.1%	3.1%		5.3%					
(20)買い物			3.7%	◎14.9%	6.3%	4.2%	15.8%	11.8%				
(21)寝かしつけ									11.1%	16.7%		
(22)掃除の手伝い			1.9%		3.1%			5.9%				
(23)洗濯物をほす、とりこむ手伝い		1.6%	1.9%	2.1%	3.1%	8.3%	10.5%	5.9%			100%	
(24)おやつの準備			5.6%	14.9%	15.6%	◎29.2%	10.5%	5.9%		16.7%		
(25)その他	3.2%	3.3%	1.9%	2.1%	3.1%							
合計回答数	63	61	54	47	32	24	19	17	9	6	1	2

表 6 夜:活動順番ごとの活動内容別の割合と合計回答数

活動内容	活動順番	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
(1)窓を開けて換気														
(2)ふとんをたたむ・しまう														
(3)挨拶をする				1.7%		3.6%	1.9%	4.5%	10.8%	7.1%	26.3%	25.0%		100%
(4)トイレ		3.2%	3.2%	3.3%	5.0%	8.9%	◎18.5%	13.6%	16.2%	14.3%	15.8%			
(5)洗顔		1.6%												
(6)手洗い・うがい		6.3%	4.8%	1.7%	3.3%	1.8%			2.7%		5.3%			
(7)はみがき			4.8%	10.0%	16.7%	7.1%	16.7%	22.7%	16.2%	17.9%	15.8%			
(8)食事		38.1%	25.4%	16.7%	8.3%	5.4%	1.9%	2.3%				25.0%		
(9)食事の手伝い・片づけ		3.2%	◎17.5%	10.0%	6.7%	7.1%	1.9%	2.3%						
(10)着替え		4.8%	6.3%	8.3%	3.3%	8.9%	3.7%	9.1%		7.1%				
(11)お弁当づくりの手伝い														
(12)持ち物の確認			1.6%		1.7%	1.8%	1.9%	2.3%						
(13)靴をはく・ぬぐ		1.6%	1.6%											
(14)一人で遊ぶ		12.7%	11.1%	◎16.7%	15.0%	7.1%	1.9%	11.4%	8.1%					
(15)親子でふれあう			4.8%	6.7%	5.0%	16.1%	9.3%	6.8%	21.6%	14.3%				100%
(16)お勉強		7.9%	4.8%	5.0%	6.7%	8.9%	1.9%			3.6%		25.0%		
(17)入浴		14.3%	9.5%	11.7%	18.3%	8.9%	18.5%	13.6%	8.1%					
(18)整理整頓			1.6%	3.3%	1.7%	5.4%	9.3%	2.3%	2.7%	10.7%				
(19)部屋の戸締り				1.7%		1.8%								
(20)買い物														
(21)寝かしつけ				1.7%	5.0%		3.7%	6.8%	5.4%	◎17.9%	36.8%	25.0%		
(22)掃除の手伝い														
(23)洗濯物をほす、とりこむ手伝い		1.6%				1.8%								
(24)おやつ準備		1.6%	1.6%			1.8%								
(25)その他		3.2%	1.6%	1.7%	3.3%	3.6%		2.3%	8.1%	7.1%				
合計回答数		63	63	60	60	56	54	44	37	28	19	4	1	1

また活動2番目の「一人で遊ぶ」は、全体の中で44.3%と1番高割合なことから、共働き夫婦の増加、長時間労働、帰宅の遅れなどの影響により親子の接触時間の減少が推察される。ベネッセ教育総合研究所(2016)のメディアを一人で操作できる比率の調査では、「すべての年齢で比率が高いのはテレビであり、1歳後半児で24.2%が一人で操作ができる。6歳児では95.5%となる。スマートフォンは、低年齢ではテレビに次いで一人で操作ができる比率が高い。1歳後半児で23.2%、2歳児34.9%、3歳児で40.9%と増加し、4歳児以降は4割台にとどまる。」と報告しており、幼児がメディアを使って一人で遊ぶことが早期化しつつある点も非常に興味深い。

夜の活動の1番、2番はそれぞれ「(8)食事(38.1%と25.4%)」、3番は「(8)食事と(14)一人で遊ぶがそれぞれ16.7%」、4番は「(17)入浴(18.3%)」、5番は「(15)親子でふれあう(16.1%)」、6番は「(4)トイレと入浴がそれぞれ18.5%」、7番は「(7)はみがき(22.7%)」、8番「(15)親子でふれあう(21.6%)」、9番は「(7)はみがきと(21)寝かしつけがそれぞれ17.9%」、10番は「(21)寝かしつけ(36.8%)」、11番は「(3)挨拶をする、(8)食事、(16)お勉強、(21)寝かしつけがそれぞれ25%」、12番は「(15)親子でふれあう(100%)」、13番は「(3)挨拶をする(100%)」が高割合であった。とりわけ夜に限定される「寝かしつけ」は、1日の最終活動として特徴的で夫婦間でも分業的な内容と考えられその課題が露呈される。

活動順	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
朝	(3)挨拶をする	(4)トイレ	(8)食事	(8)はみがき	(14)一人で遊ぶ	(11)着替え	(13)靴をはく・ぬぐ	(12)持ち物の確認	
					(16)お勉強				
昼	(9)食事の手伝い・片づけ	(14)一人で遊ぶ	(15)親子でふれあう	(20)買い物	(6)手洗い・うがい	(24)おやつ準備	(8)食事	(9)食事の手伝い・片づけ	(14)一人で遊ぶ
									(15)親子でふれあう
夜	(8)食事	(9)食事の手伝い・片づけ	(14)一人で遊ぶ	(17)入浴	(15)親子でふれあう	(4)トイレ	(7)はみがき	(21)寝かしつけ	

図2 幼児の1日における活動内容の基本モデル

博報堂(2018)の子ども(3歳未満)の睡眠・寝かしつけ調査では「7割以上のママが寝かしつけにストレスを感じ、6割以上のママが寝かしつけに悩んでいる」や「寝かしつけにかかる時間、30分以上が6割、60分以上が15.6%、子どもの寝る時間は22時以降が3割超える」ことが分かり、幼稚園児においても寝かしつけに悩みを抱えている世帯が多いことが推察される。

以上、朝・昼・夜の各活動の割合を考察して見ると、それぞれで活動順番の内容と特徴が異なることが分かった。図2に、活動順番別の活動内容を統計的な割合や全体の流れ、関連性を加味しながら結び付けた基本モデルを示す。結び付けの際は、活動順番の中で1番割合が高いものを採用するが、順番の前後で内容が重複するものなどに関しては、前内容と調和・接続するものを便宜上選定(表4~6の「◎」の内容)した。朝⑤は、(14)「一人で遊ぶ」と(16)「お勉強」は密に関わることから1つに併せた。同様に、昼⑨も、(14)「一人で遊ぶ」と(15)「親子でふれあう」は、時間とタイミングの問題によってどちらからの変ると推察し併せることにした。この活動の基本モデルを柱にして、子どもの活動を促すコンテンツの増減を調整してゆきたい。

3.2. 1日の活動の中でスムーズにしたい内容と問題点

子どもの活動を促すアニメーションのコンテンツをより有用なものにする為に、選定された内容にどのような問題があるのか明確化する必要がある。表7に、「おこなう順」の内、特にスムーズにしたいと内容とその問題点の合計結果を示す。

朝、子どもにスムーズに行ってほしい内容は、大きく「(8)食事[38.3%]」と「(10)着替え[33%]」に集約される。(8)食事面の代表的記述としては、「テレビを見ながら食べているから」「食事中に遊んでなかなか食べない。席をはなれてしまう。」、(10)着替えは「テレビを見ながらゆっくりきがえている。」「遊んだりTVを見たりして、なかなか着替えない。」などが挙げられた。

昼、子どもにスムーズに行ってほしい内容は、「(18)整理整頓[28.6%]」が最も多く、次いで「(16)お勉強[14.3%]」と続いた。(18)整理整頓の代表的記述は「片付けの中に他のことに気が散ってしまってすすまない。」「遊んだ後のおもちゃの後片付けを自分から行わない。親が促すとやらされているという感じで渋々片付けている。」「遊んだおもちゃを片付けないで次のお

もちゃを出してしまう。親としては最後に全部まとめて片付けるのではなく、遊んでた物を片付けてから次のおもちゃを出して欲しい。」、(16)のお勉強は「遊びたいから、勉強が難しくてわからない」「なかなかお勉強モード(切り替え)が出来ません」「時間を決めておくと動くかが必ずしもそうではない」などが挙げられた。

夜、子どもにスムーズに行ってほしい内容は、「(17)入浴[23.9%]」が最も多く、次いで「(16)食事[22.5%]」、「(7)はみがき[14.1%]」、「(21)寝かしつけ[14.1%]」と続いた。(17)入浴

の代表的記述は「お風呂に入ろう！」と言っても、テレビを見ていたら、「今おもしろいからもうちょっと待って！」が何度か続き、お風呂に入るまで時間がかかります。「お風呂に入ろうとイヤがり、入っている時に体を洗おうと言うとイヤがる(おもちゃで遊んでるから)」、(16)食事は「テレビを見ながら食べているから。」「好きな物だけ食べる。席を立て遊ぶ。」、(7)はみがきは「歯みがきをする事をスムーズにしてくれない。歯みがきをするまでにとっても時間がかかる。特に仕上げみがきをするのを嫌がります。」「一人ではみがきをせず、全部母のほうでやる。」、(21)寝かしつけは「遊んで眠くならないなかなか寝室にも入らない」「父親の帰宅時間と重なるので、寝かしつけが、スムーズに行かないです。」などが挙げられた。

上記のスムーズにしてほしい内容は、本研究で取り組む子どもの活動を促すアニメーション教材を開発するにあたり、親の観点から見てもぜひ取り上げてほしい重点課題である。特に高割合の「食事」「整理整頓」「入浴」は、各家庭でのニーズが高いと言える。これらの活動をよりスムーズに行う教材として、幼児も理解しやすいアニメーションのアプローチ法が有効であると考えられる。課題を豊富に盛り込んだアニメーション教材であれば、子どもは継続的に視聴し、自らがスムーズにいかない問題点に気づいたり、改善点を振り返ったりしやすくなることが期待される。

4. ま と め

本調査は、幼児の朝・昼・夜における活動順番とその課題を把握する為に、H幼稚園の保護

表 7 スムーズにしたい内容と問題点別の割合と合計回答数

活動内容	朝活	昼活	夜活
(1)窓を開けて換気	0%	0%	0%
(2)ふとんをたたむ・しまう	1.1%	0%	0%
(3)挨拶をする	1.1%	0%	0%
(4)トイレ	3.2%	2.9%	1.4%
(5)洗顔	3.2%	0%	0%
(6)手洗い・うがい	0%	2.9%	1.4%
(7)はみがき	8.5%	2.9%	14.1%
(8)食事	38.3%	5.7%	22.5%
(9)食事の手伝い・片づけ	0%	0%	2.8%
(10)着替え	33.0%	2.9%	1.4%
(11)お弁当づくりの手伝い	0.0%	0%	0%
(12)持ち物の確認	3.2%	0%	1.4%
(13)靴をはく・ぬぐ	0%	0%	0%
(14)一人で遊ぶ	0%	5.7%	0%
(15)親子でふれあう	1.1%	8.6%	4.2%
(16)お勉強	4.3%	14.3%	4.2%
(17)入浴	0%	5.7%	23.9%
(18)整理整頓	1.1%	28.6%	4.2%
(19)部屋の戸締り	0%	0%	0%
(20)買い物	0%	8.6%	0%
(21)寝かしつけ	0%	0%	14.1%
(22)掃除の手伝い	0%	0%	0%
(23)洗濯物をほす、とりこむ手伝い	0%	2.9%	0%
(24)おやつ準備	0%	0%	0%
(25)その他	2.1%	8.6%	4.2%
合計回答数	94	35	71

者 63 名にアンケート調査を実施し、以下のことが分かった。

朝の主要な活動は、①挨拶をする、②トイレ、③食事、④はみがき、⑤一人で遊ぶ・お勉強、⑥着替え、⑦靴をはく・ぬぐ、⑧持ち物の確認の 8 内容を示した。昼は、①食事の手伝い・片づけ、②一人で遊ぶ、③親子でふれあう、④買い物、⑤手洗い・うがい、⑥おやつ準備、⑦食事、⑧食事の手伝い・片づけ、⑨一人で遊ぶ・親子でふれあうの 9 内容を示した。夜は、①食事、②食事の手伝い・片づけ、③一人で遊ぶ、④入浴、⑤親子でふれあう、⑥トイレ、⑦はみがき、⑧寝かしつけの 8 内容を示した。

子どもにスムーズに行ってほしい内容は、朝が「食事」の割合が最も高く、次に「着替え」と続いた。昼は、「整理整頓」の割合が最も高く、次に「お勉強」と続いた。夜は、「入浴」の割合が最も高く、次に「食事」、「はみがき」、「寝かしつけ」と続いた。今後は、得られたデータを参考にアニメーションに実装するコンテンツの選定及び子どもの活動を図るシナリオの展開法について検討してゆく計画である。

謝 辞

アンケート調査にご助力いただいた H 幼稚園の園長先生、保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。

参 考 文 献

- [1]ベネッセ教育総合研究所 BERD (2008)「社会や大人の生活変化の影響を受ける子どもたち」
https://berd.benesse.jp/berd/center/open/berd/backnumber/2008_16/fea_maehashi_02.html
- [2]ベネッセ教育情報サイト(2016)「子どもを成長させるお手伝い お手伝いをさせるための工夫とは？」
<https://benesse.jp/kosodate/201606/20160616-1.html>
- [3]ベネッセ教育総合研究所(2016)「第 5 回 幼児の生活アンケート 第 1 章 幼児の生活」
https://berd.benesse.jp/up_images/textarea/jisedai/research/yoji-anq_5/YOJL_chp1_P13_35.pdf
- [4]博報堂(2018)「子どもの睡眠・寝かしつけ調査」
<https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2018/12/20181210.pdf>
- [5]橋本恵子(2009)「子どもの育ちと母親の育児姿勢(2)子育て中の母親の意識調査から」高田短期大学紀要 (27) 13-22
- [6]松村明(編集)「大辞林 第三版(日本語)」2006
- [7]中川陽子、宮本信也(2020)「幼児の負の感情表出に対する母親の不適切な対処行動につながる要因の検討」日本健康教育学会誌 28(1)15-24
- [8]清水嘉子、遠藤俊子、松原美和、松浦志保、赤羽洋子、宮澤美知留、黒田祐子(2007)「子育て期をより幸福に過ごすための母親の工夫とその効果」日本助産学会誌 21(2) 23-35
- [9]山西加織(2016)「子育て期にある母親の運動習慣の実態と不定愁訴との関連」日本体育学会大会予稿集 67(0) 287_1-287_1

藤野 良孝(保健医療学部健康スポーツ科学科准教授)^{*1}

梶山 俊仁(保健医療学部健康スポーツ科学科教授)^{*1}

寺田 泰人(桜花学園大学保育学部教授)^{*2}